

数学 トライシート 1-①-1-A

名前

小数のかけ算の筆算

【復習】

- ① まず、小数点がないものとして計算します。
 ② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ、右から数えて打ちます。

1. 2	右へ1けた
↘	
× 2. 3	右へ1けた
↘	
3 6	
2 4	↓
2. 7 6	左へ2けた
↙ ↘	

【練習】 に当てはまる数を書きましょう。

(1) $6.7 \times 1.2 =$ ^ウ

(2) $3.6 \times 0.27 =$ ^カ

6. 7	右へ1けた
↘	
× 1. 2	右へ1けた
↘	
ア <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	
イ <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	↓
ウ <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	左へ2けた

3. 6	右へ1けた
↘	
× 0. 2 7	右へ2けた
↘	
エ <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	
オ <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	↓
カ <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	左へ3けた

答え 【練習】 (1)ア 1, 3, 4 イ 6, 7 ウ 8.04

(2)エ 2, 5, 2 オ 7, 2 カ 0.972

分母の異なる分数のたし算

【復習】

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = ?$$

分母が異なっているので、通分（分母を同じ数にそろえること）が必要です。

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ の計算をします。□に当てはまる数を書きましょう。

分母を最小公倍数にそろえます。

（最小公倍数：いくつかの数の共通の倍数のうち、一番小さい数のこと）

2と3の最小公倍数は ^ア□ なので、分母を ^イ□ にそろえます。

分数は分母と分子に同じ数をかけても大きさは変わらないので、

$$\frac{1}{2} \times \frac{3}{3} = \frac{3}{6}, \quad \frac{1}{3} \times \frac{2}{2} = \frac{2}{6}$$

したがって

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{\text{ウ} \square}{6} + \frac{\text{エ} \square}{6} = \frac{\text{オ} \square}{6}$$

【練習】 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{1}{2} + \frac{1}{5}$

通分して計算
しよう。



(2) $\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

ひき算もやり方
は同じだよ。

答え 【復習】 ア 6 イ 6 ウ 3 エ 2 オ 5 【練習】 (1) $\frac{7}{10}$ (2) $\frac{11}{12}$

数学 トライシート 1-①-1-B

名前

たし算・ひき算とかけ算・わり算の混じった計算

【復習】

たし算・ひき算とかけ算・わり算の混じった式は、かけ算・わり算から先に計算します。

【練習】 に当てはまる数を書きましょう。

$$10 \div 2 + 3 \times 4$$

$$= \overset{\text{ア}}{\underbrace{\quad}} + \overset{\text{イ}}{\underbrace{\quad}}$$

$$= \overset{\text{ウ}}{\quad}$$

分数のわり算

【復習】

分数でわる場合には、わる数の逆数をかけます。

【練習】

$\frac{5}{6} \div \frac{7}{12}$ の計算をします。 に当てはまる数を書きましょう。

$$\frac{7}{12} \text{ の逆数は } \frac{\overset{\text{エ}}{\quad}}{\underset{\text{オ}}{\quad}}$$

なので、

$$\frac{5}{6} \div \frac{7}{12} = \frac{5}{6} \times \frac{\overset{\text{カ}}{\quad}}{\underset{\text{キ}}{\quad}}$$

$$= \frac{\overset{\text{ク}}{\quad}}{\underset{\text{ケ}}{\quad}}$$

約分を忘れずに！



答え 【練習】 ア 5 イ 12 ウ 17 【練習】 エ 12 オ 7 カ 12 キ 7 ク 10 ケ 7

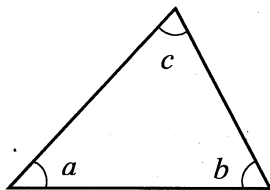
数学 トライシート 1-①-2

名前

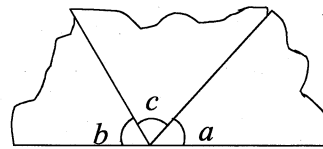
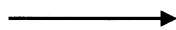
三角形の角

【復習】

三角形の内角の和は 180° です。

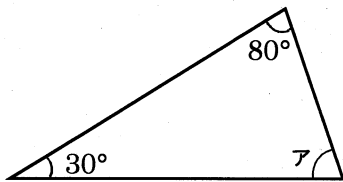


分解して
組み合わせると



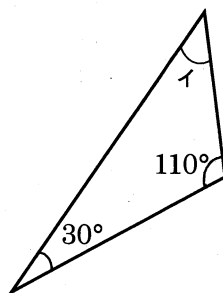
【練習】 次の角の大きさを求めましょう。

(1)



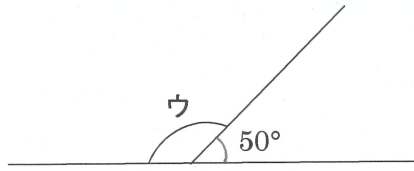
ア

(2)



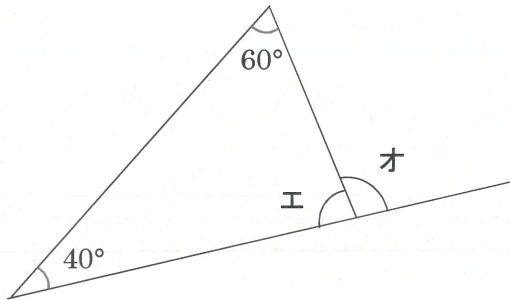
イ

(3)



ウ

(4)



エ

オ

三角形の内角の和は 180° だよ。
分度器で測るのではなく、
計算で求めよう。



数学 トライシート 1-①-3

名前

円の面積

【復習】

円の面積 = 半径 × 半径 × 円周率

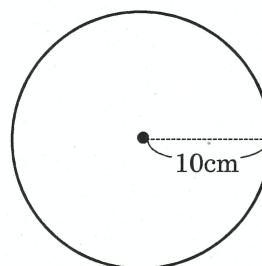
円周率は 3.14
を使おう！



【練習】 次の各問いに答えましょう。

(1) 半径 10cm の円の面積を求めましょう。

(式)



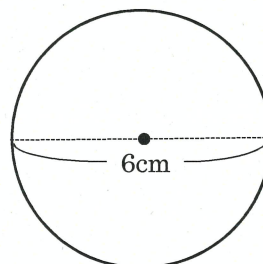
単位も忘れずに！



答え

(2) 直径 6cm の円の面積を求めましょう。

(式)



答え

答え 【練習】 (1) (式) $10 \times 10 \times 3.14 = 314$

答え 314cm^2

(2) (式) $6 \div 2 = 3$ $3 \times 3 \times 3.14 = 28.26$

答え 28.26cm^2

数学 トライシート 1-①-4

名前

立体の体積

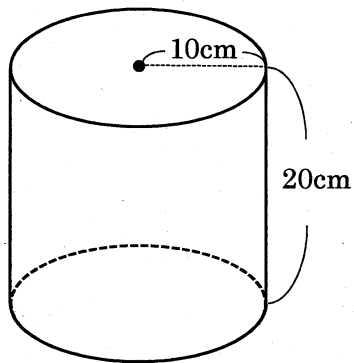
【復習】

角柱の体積 = 底面積 × 高さ

円柱の体積 = 底面積 × 高さ

【練習】 次の図の円柱の体積を求めましょう。ただし、円周率は 3.14 とします。

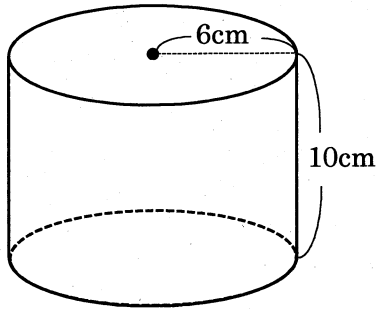
(1)



(式)

答え

(2)



(式)

答え

答え 【練習】 (1)(式) $10 \times 10 \times 3.14 \times 20 = 6280$

答え 6280cm^3

(2)(式) $6 \times 6 \times 3.14 \times 10 = 1130.4$

答え 1130.4cm^3

数学 トライシート 1-②-1

名前

小数と分数のかけ算・わり算

【復習】

小数のかけ算

$$\begin{array}{r}
 0.2 \\
 \times 0.3 \\
 \hline
 0.06
 \end{array}$$

右に1けた移動
右に1けた移動
左に2けた移動

小数のわり算

$$\begin{array}{r}
 30 \\
 0.1 \overline{) 3.0} \\
 \hline
 \end{array}$$

右に1けた移動 右に1けた移動



わる数とわられる数の
小数点を、同じけた数
だけ移動するよ！

分数のかけ算

分数×分数の計算は、分母どうし、
分子どうし、そのままかけます。

$$\frac{2}{3} \times \frac{1}{3} = \frac{2 \times 1}{3 \times 3} = \frac{2}{9}$$

【練習】 次の計算をしましょう。

(1) 0.2×0.4

(2) $4 \div 0.1$

(3) $\frac{2}{3} \times \frac{1}{4}$



約分を忘れずに！

 答え 【練習】 (1)0.08 (2)40 (3) $\frac{1}{6}$

数学 トライシート 1-②-2

名前

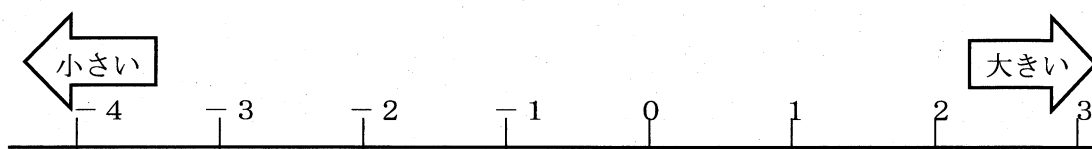
絶対値と数の大小

【復習】

絶対値とは？

絶対値は、数直線上の0からある数までの である。

【練習】 次の数直線を参考にして、次の各問いに答えましょう。



(1) 次の数の絶対値を、にそれぞれ書きましょう。

① 2

② -3

③ +1

(2) 絶対値が5になる数をすべて書きましょう。

(3) に当てはまる数を書きましょう。

① -2より3大きい数は

である。

② 1より4小さい数は

である。

答え 【復習】 距離 【練習】 (1)① 2 ② 3 ③ 1 (2) 5(または+5), -5

(3)① 1 ② -3

【復習】

数の大小

正の数は負の数より大きい。

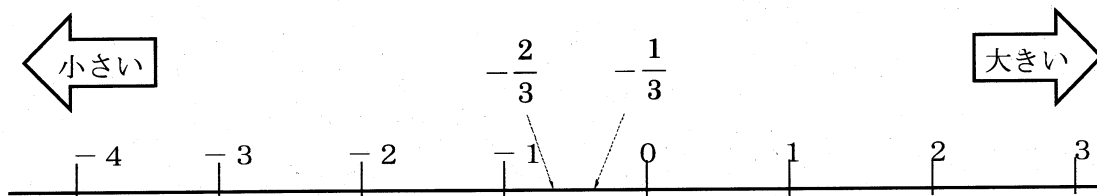
正の数は0より大きく、絶対値が大きいほど

ア

負の数は0より小さく、絶対値が大きいほど

イ

【練習】 次の数直線を参考にして、問いに答えましょう。



次の数の大小を不等号を使って表しましょう。

(1) 2 -3

(2) -3 -4

(3) $-\frac{2}{3}$ $-\frac{1}{3}$

答え 【復習】 ア大きい イ小さい 【練習】 (1)> (2)> (3)<

数学 トライシート 1-②-3-A

名前

正の数・負の数の加法・減法

【復習】

同符号の2数の和

符号…2数と同じ符号
絶対値…2数の絶対値の和

異符号の2数の和

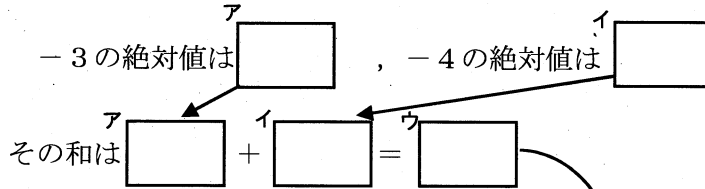
符号…絶対値の大きい方の符号
絶対値…2数の絶対値の大きい方から小さい方をひいた差

【練習】 次の計算をします。 に当てはまる数や符号を書きましょう。

(1) $(-3) + (-4)$

同符号の2つの数の和を求める計算のしかたをマスターしよう!

① 2数の絶対値をたす。



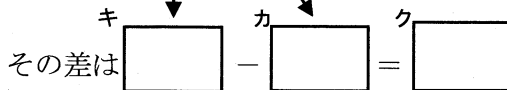
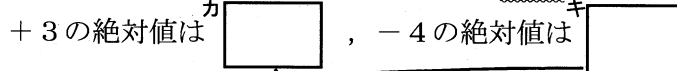
② 共通の符号をつける。符号は ^エ

⇒ 答えは ^オ

(2) $(+3) + (-4)$

異符号の2つの数の和を求める計算のしかたをマスターしよう!

① 絶対値の大きい方から小さい方をひく。



② 絶対値の大きい方の符号をつける。符号は ^ケ

⇒ 答えは ^コ

答え 【練習】 (1)ア3 イ4 ウ7 エ- オ-7 (2)カ3 キ4 ク1 ケ- コ-1

【復習】

正の数・負の数をひくには、符号を変えた数をたします。

【練習】 次の計算をします。□に当てはまる数や符号を書きましょう。

(3) $(+5) - (+2)$

負の数を含む減法をマスターしよう！

$5 - 2 = 3$ ですが、上の原則から、次のようにも考えられます。

$(+5) - (+2) = (+5) + (-2)$ 符号を変えてたし算にする
= ^サ □

符号を変える

(4) $(-5) - (+2) = (-5) \overset{シ}{\square} (\overset{ス}{\square} 2)$
符号を変える
= ^セ □

同符号の2数の和なので、
絶対値をたして同じ符号を
つけるよ！



符号を変える

(5) $(+4) - (-3) = (+4) \overset{ソ}{\square} (\overset{タ}{\square} 3)$
符号を変える
= ^チ □

異符号の2数の和なので、
絶対値をひき算して、
絶対値の大きい方の符号を
つけるよ！



符号を変える

(6) $(-4) - (-3) = (-4) \overset{ツ}{\square} (\overset{テ}{\square} 3)$
符号を変える
= ^ト □

答え 【練習】 (3)サ 3(または+3) (4)シ+ ス- セ-7

(5)ソ+ タ+ チ 7(または+7) (6)ツ+ テ+ ト-1

数学 トライシート 1-②-3-B

名前

正の数・負の数の加法・減法

【復習】

$7-8-5+9$ という式は、加法だけの式になおすと、

$$(+7)+(-8)+(-5)+(+9)$$

と表すことができます。

$+7$, -8 , -5 , $+9$ を $7-8-5+9$ の式の項といいます。

また、 $+7$, $+9$ を正の項, -8 , -5 を負の項といいます。

次の計算をします。□に当てはまる数や符号を書きましょう。

(1) $-2-5$

□
-2

と

□
-5

の和と考えられます。

負の項

負の項

同符号の2数の和なので、
絶対値をたして、共通の
符号をつけるよ！

同符号の2数の和→絶対値をたして、共通の符号をつける。

$-2-5=$ ^ア □



(2) $3-6$

○
3

と

□
-6

の和と考えられます。 $3+(-6)$ ということです。

正の項

負の項

異符号の2数の和→絶対値の差をとって、絶対値の大きい方の符号をつける。

絶対値の差は ^イ □ , 絶対値の大きい方の符号は ^ウ □ なので、

答えは ^エ □

(3) $9-4$

9 と -4 の和と考えられます。
正の項 負の項

異符号の2数の和→絶対値の差をとって、絶対値の大きい方の符号をつける。

絶対値の差は 5 , 絶対値の大きい方の符号は $-$ なので,

答えは -5

(4) $-6+2$

-6 と $+2$ の和と考えられます。
負の項 正の項

異符号の2数の和→絶対値の差をとって、絶対値の大きい方の符号をつける。

絶対値の差は 4 , 絶対値の大きい方の符号は $-$ なので,

答えは -4

【練習】 次の計算をしましょう。

(1) $-5-7$

(2) $3-8$

(3) $-2+9$

(4) $-6+4$

答え 【復習】 (1)ア-7 (2)イ3 ウ- エ-3 (3)オ5 カ+ キ5

(4)ク4 ケ- コ-4

【練習】 (1)-12 (2)-5 (3)7 (4)-2

数学 トライシート 1-②-3-C

名前

加法と減法の混じった計算

【復習】

加法と減法の混じった式では、加法だけの式になおし、正の項の和、負の項の和を、それぞれ求めて計算することができます。

(1) $-3 - (-5) + (-2)$

項が増えても考え方は同じです。まずは、加法だけの式に直します。

$$-3 - (-5) + (-2) = \boxed{-3} + (\textcircled{+5}) + (\boxed{-2})$$

加法だけの式に直す。

$$= \boxed{-3} + (\boxed{-2}) + (\textcircled{+5})$$

負の項 負の項 正の項

加える順序を変える。
(負の項どうし、正の項どうしでまとめる)

$$= \boxed{-5} + (\textcircled{+5})$$

$$= 0$$

(2) $(+1) - (-8) + (-6) = (\textcircled{+1}) + (\textcircled{+8}) + (\boxed{-6})$

正の項 正の項 負の項

加法だけの式に直す。

$$= (+9) + (-6)$$

正の項どうし、負の項どうしを計算する。

$$= 3$$

(3) $-7 + 8 - 9$

$\boxed{-7}$, $\textcircled{+8}$, $\boxed{-9}$ の3つの項の和と考えることができます。

計算の順序を変えて、

$$\underline{-7-9} + 8 \quad \text{とできます。}$$

$$= \underline{-16} + 8$$

絶対値をたして共通の符号をつける。

$$= -8$$

絶対値の差をとって、絶対値の大きい方の符号をつける。

【練習】 次の計算をしましょう。

(1) $-2 - (-3) + (-5)$

(2) $-5 + 7 - 4$

(3) $2 - 9 - 8$

答え 【練習】 (1) -4 (2) -2 (3) -15

数学 トライシート 1-②-4

名前

いろいろな計算～分配法則

【復習】

分配法則

$$(a + b) \times c = ac + bc$$

$$(a - b) \times c = ac - bc$$

$$c(a + b) = ac + bc$$

$$(a + b) \div c = \frac{a}{c} + \frac{b}{c}$$

【練習】 分配法則を利用して、次の計算をしましょう。(4)は に当てはまる数を書きましょう。

(1) $3(x+1)$

(2) $-2(y+2)$

(3) $(2y-3) \times 5$

(4) $(10x+5) \div 5$

$$= \overset{\text{ア}}{\frac{10x}{\square}} + \overset{\text{イ}}{\frac{5}{\square}}$$

$$= \overset{\text{ウ}}{\square} x + \overset{\text{エ}}{\square}$$

かけ算の記号×は、省くことができるよ！

文字と数の積では、数を文字の前に書くよ！



わる数が整数のときは、分数の形にして計算できるよ！



答え 【練習】 (1) $3x+3$ (2) $-2y-4$ (3) $10y-15$ (4) ア 5 イ 5 ウ 2 エ 1

【練習】 次の に当てはまる数や符号を書きましょう。

(5) $(3y-1)-2(y+2)$

$$\underline{3(y-1)} - \underline{2(y+2)}$$

_____と_____のまとまり
ごとに分配法則を使う。

$$= \underline{3y} \text{ } \underline{3} \text{ } \underline{2y} \text{ } \underline{4}$$

$$= 3y \text{ } 2y \text{ } 3 \text{ } 4$$

文字の項どうし、数の項どうし
でまとめる。

$$= y - \text{ }$$

(6) $(-6y+8) \div 2$

(4)を参考に、分数の形にして
計算しよう！

$$(a+b) \div c = \frac{a}{c} + \frac{b}{c} \text{ だよ!}$$



数学 トライシート 1-③-1-A

名前

逆数

【復習】

「逆数」とは？

$\frac{3}{8} \times \frac{8}{3} = 1$ のように、2つの数の積が1になるとき、

一方の数を、他方の数の ^ア といいます。

これは、負の数でも同じです。

【練習】 次の に当てはまる数を入れましょう。

(1) $\frac{2}{3} \times \overset{1}{\square} = 1$ なので、 $\frac{2}{3}$ の逆数は ¹ である。

(2) $-\frac{2}{5} \times \overset{2}{\square} = 1$ なので、 $-\frac{2}{5}$ の逆数は ^ウ である。

(3) $2 \times \overset{エ}{\square} = 1$ なので、2 の逆数は ^エ である。

(4) $-\frac{1}{3} \times \overset{オ}{\square} = 1$ なので、 $-\frac{1}{3}$ の逆数は ^オ である。

答え 【復習】 ア 逆数

【練習】 (1)イ $\frac{3}{2}$ (2)ウ $-\frac{5}{2}$ (3)エ $\frac{1}{2}$ (4)オ -3

正の数・負の数の計算

【復習】

加減（たし算・ひき算）と乗除（かけ算・わり算）の混じった式は、乗除を先に計算します。

$$3 \times (-8) + 7 \times (-8)$$

この計算を先に この計算を先に

$$3 \times (-8) = \overset{\text{カ}}{\boxed{\quad}}$$

$$7 \times (-8) = \overset{\text{キ}}{\boxed{\quad}} \quad \text{なので,}$$

$$3 \times (-8) + 7 \times (-8)$$

$$= \overset{\text{カ}}{\boxed{\quad}} + \overset{\text{キ}}{\boxed{\quad}}$$

$$= \overset{\text{ク}}{\boxed{\quad}}$$

3+7=10 であることに気が
つければ、分配法則を利用して、
もっと簡単に計算できるよ！
次の【練習】で確かめよう！



【練習】分配法則を使って次の計算をします。□に当てはまる数を書きましよう。

$$3 \times (-8) + 7 \times (-8)$$

$$= (\overset{\text{ケ}}{\boxed{\quad}} + \overset{\text{コ}}{\boxed{\quad}}) \times (-8)$$

$$= \overset{\text{サ}}{\boxed{\quad}} \times (-8)$$

$$= \overset{\text{シ}}{\boxed{\quad}}$$

分配法則は

$$a \times c + b \times c = (a + b) \times c$$

だよ！



数学 トライシート 1-③-1-B

名前

式の値

【復習】

式の中の文字に数を当てはめることを^{だいにゆう}代入するといいます。
また、文字に数を代入したとき、その数を文字の^{あたい}値といい、代入して求めた結果を式の値といいます。

【練習】 $x=3$, $y=-4$ のとき、 $5x+2y$ の値を求めます。□に当てはまる数を書きましょう。

$$5x+2y$$

$$=5 \times x + 2 \times y$$

$x=3$, $y=-4$ を代入する。

$$=5 \times \overset{\text{ア}}{\square} + 2 \times (\overset{\text{イ}}{\square})$$

$$= \overset{\text{ウ}}{\square} + (\overset{\text{エ}}{\square})$$

$$= \overset{\text{オ}}{\square}$$

等しい関係を表す式

【復習】

「20本の鉛筆を1人に6本ずつ3人に配ると2本余る」ということを等式で表すと、

$$20 = 6 \times 3 + 2$$

となります。

【練習】上と同じように考えて、に当てはまる数や式を書きましょう。

「 a 本の鉛筆を1人に5本ずつ b 人に配ると3本余る」ということを等式で表すと、

$$a = \overset{\text{カ}}{\boxed{\quad}} + \overset{\text{キ}}{\boxed{\quad}}$$

となります。

数学 トライシート 1-③-2

名前

方程式

【復習】

「^{いこう}移項」とは？

等式では、一方の辺の項を、符号を変えて、他方の辺に移すことができます。このことを移項するといいます。

方程式を解くには、移項することによって、文字の項を一方の辺に、数の項を他方の辺に集めます。

$$7x \boxed{-2} = 6 \boxed{+3x}$$

$$7x \boxed{-3x} = 6 \boxed{+2}$$

【練習】 次の方程式を解きます。 に当てはまる数や式、符号を書きましょう。

(1)

$$7x = 4x + 24$$

ア $4x = 24$

イ $x = 24$

ウ $x =$

移項して、左辺に文字の項、右辺に数の項を集める。

$ax=b$ の形にする。

両辺を x の係数でわる。

(2)

$$-4x - 12 = 5x - 30$$

$$\begin{array}{l}
 \text{エ} \\
 -4x \quad \boxed{} = -30 \quad \boxed{} \\
 \text{オ} \\
 \text{カ} \quad \boxed{} \quad x = \quad \boxed{} \\
 \text{キ} \\
 \text{ク} \quad \boxed{} \\
 x = \quad \boxed{}
 \end{array}$$

移項して、左辺に文字の項、
右辺に数の項を集める。

$ax=b$ の形にする。

両辺を x の係数でわる。

(3)

$$-4(x+3) = 5(x-6)$$

$$\begin{array}{c}
 \curvearrowright \quad \curvearrowright \\
 -4(x+3) = 5(x-6)
 \end{array}$$

$$\begin{array}{l}
 \text{ケ} \quad \boxed{} \quad x - 12 = 5x - \quad \boxed{} \\
 \text{コ} \\
 \text{サ} \quad \boxed{} \quad x = -30 + \quad \boxed{} \\
 \text{シ} \\
 \text{ス} \quad \boxed{} \quad x = \quad \boxed{} \\
 \text{セ} \\
 \text{ソ} \quad \boxed{} \\
 x = \quad \boxed{}
 \end{array}$$

分配法則を利用して () を
はずす。

移項して、左辺に文字の項、
右辺に数の項を集める。

$ax=b$ の形にする。

両辺を x の係数でわる。

答え 【練習】 (2) エ $-5x$ オ $+12$ カ -9 キ -18 ク 2

(3) ケ -4 コ 30 サ -5 シ 12 ス -9 セ -18 ソ 2

数学 トライシート 1-③-3

名前

比例

【復習】

y が x の関数で、その間の関係が、

$$y = ax \quad a \text{ は定数}$$

で表されるとき、

y は x に比例する

といい、定数 a を比例定数といいます。

たとえば、 $y = 3x$ では、表をつくと、

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	3...
y	...	-9	-6	-3	0	3	6	9...



3倍 \Rightarrow 比例定数は

【練習】 次の各問いの に当てはまる数を書きましょう。

(1) y は x に比例していて、 $x=2$ のとき $y=4$ です。

x と y の関係を式に表しましょう。

〈考え方〉

x2.....
y4.....



倍



比例定数は

式

x

(2) y は x に比例していて、 $x = -5$ のとき $y = 30$ です。
 x と y の関係を式に表しましょう。

〈考え方〉

x-5.....
y 30.....

→ 倍 ⇒ 比例定数は

式 $y = \text{} x$

答え 【練習】(2) の中はすべて-6

数学 トライシート 1-③-4

名前

反比例

【復習】

y が x の関数で、その間の関係が、

$$y = \frac{a}{x} \quad a \text{ は定数}$$

で表されるとき、

y は x に反比例する

といい、定数 a を比例定数といいます。

【練習】 $y = \frac{6}{x}$ のグラフを書きましょう。表をつくと、

x	…-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	…
y	…-1	-1.2	-1.5	-2	-3	-6	×	6	3	2	1.5	1.2	1	…

y の値の求め方

・ $x=1$ のとき

$$y = \frac{6}{1} = 6$$

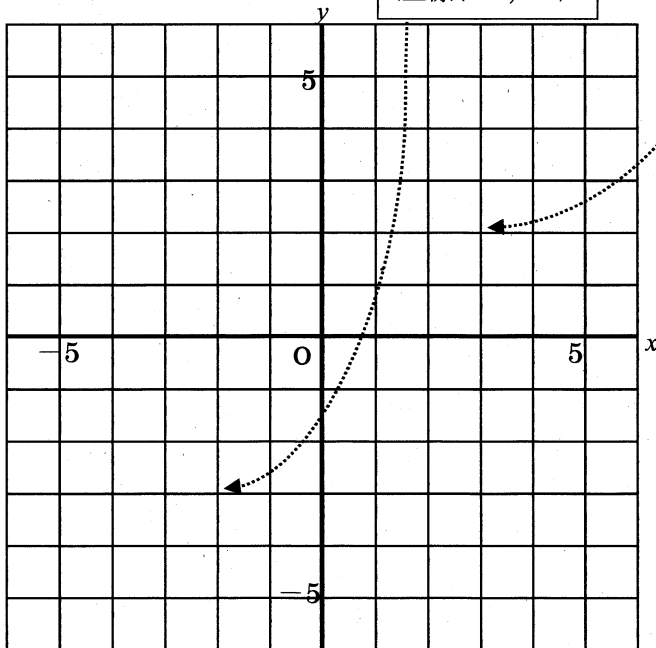
・ $x=2$ のとき

$$y = \frac{6}{2} = 3$$

グラフにしてみましょう。

座標(-2, -3)

座標(3, 2)

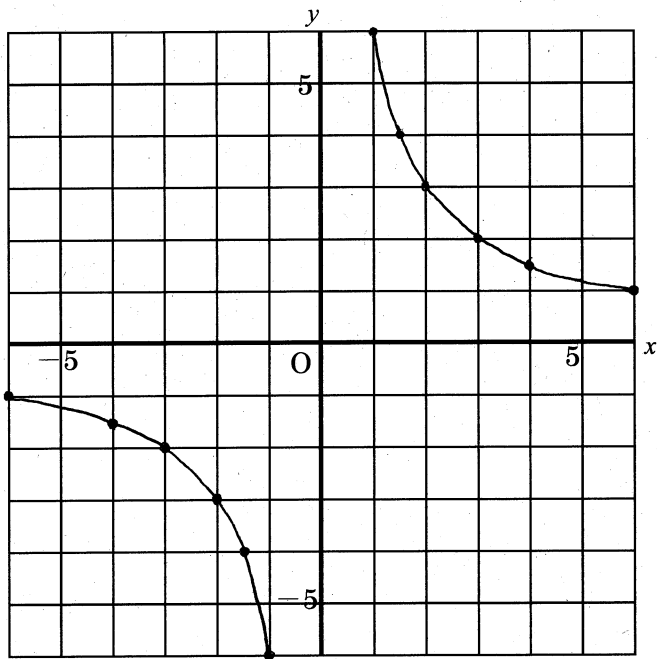


①座標をとる。

②なめらかに線をひく。

注意： x 軸や y 軸とは交わらない。

答え 【練習】



数学 トライシート 1-④-1-A

名前

指数

【復習】

$$\cdot 5 \times 5 = 5^{\text{②}}$$

かけあわす数5の個数を示したもので、
指数といいます。

$$\cdot 5 \times 5 \times 5 = 5^{\text{ア}} \square$$

数を入れましょう。

$$\cdot (-3) \times (-3) = (-3)^2$$

$$\cdot (-3) \times (-3) \times (-3) = (-3)^{\text{イ}} \square$$

【練習】 次の に当てはまる数を書きましょう。

$$(-3)^3 = \underline{(-3) \times (-3) \times (-3)} \times (\text{ウ} \square)$$

$$= \underline{9} \times (\text{エ} \square)$$

$$= \text{オ} \square$$

分数の乗除

【復習】

$$\frac{\cancel{3}^1}{\cancel{3}_2} \times \frac{\cancel{4}^1}{\cancel{3}_1} = \frac{1}{2}$$

乗法(かけ算)は、分母・分子を約分して、分母は分母どうし、分子は分子どうしをかけます。

$$\frac{2}{3} \div \frac{4}{3} = \frac{\cancel{2}^1}{\cancel{3}_1} \times \frac{\boxed{\cancel{3}^1}}{\boxed{\cancel{4}_2}} = \frac{1}{2}$$

逆数

除法(わり算)は、逆数にして乗法にします。

【練習】 次の に当てはまる数を書きましょう。

$$\left(-\frac{8}{9}\right) \div \left(-\frac{2}{9}\right) = \left(-\frac{8}{9}\right) \times \left(-\frac{\overset{\text{カ}}{\square}}{\underset{\text{キ}}{\square}}\right) = \overset{\text{ク}}{\square}$$

逆数

※逆数について

2つの数の積が1になるとき、一方の数を、他方の数の逆数といいます。これは、負の数でも同じです。

$$\left(-\frac{2}{9}\right) \times \left(-\frac{\overset{\text{ケ}}{\square}}{\underset{\text{コ}}{\square}}\right) = 1 \quad \text{なので、} -\frac{2}{9} \text{ の逆数は } \overset{\text{サ}}{\square}$$

数学 トライシート 1-④-1-B

名前

比例式

【復習】

比例式とは、たとえば、

$$6 : 4 = 3 : 2$$

のような、比が等しいことを表す式のことです。

比例式の性質をためしてみると、

$$6 \times 2 = 4 \times 3 \quad \text{となります。}$$

比例式の性質

$$a : b = c : d \quad \text{ならば,}$$

$$ad = bc$$

【練習】 次の に当てはまる数を書きましょう。

$$3 : x = 7 : 5$$

$$3 \times 5 = x \times 7$$

$$15 = 7x$$

$$7x = 15$$

$$x =$$

答え 【練習】 $\frac{15}{7}$

数学 トライシート 1-④-2

名前

反比例

【復習】

y が x の関数でその間の関係が

$$y = \frac{a}{x} \quad a \text{ は定数}$$

で表されるとき、 y は x に反比例する といひ、

定数 a を比例定数といひます。

たとえば、 $y = \frac{6}{x}$ では、表をつくと、

x	…	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6…
y	…	-1	-1.2	-1.5	-2	-3	-6	×	6	3	2	1.5	1.2	1…

積 $xy=6$

※ y の値の求め方

・ $x=1$ のとき $y = \frac{6}{1} = 6$

・ $x=-3$ のとき $y = \frac{6}{-3} = -2$

対応する x と y の値の積 xy は一定で、比例定数 a に等しい。

【練習】 次の各問いの \square に当てはまる数を書きましょう。

(1) y は x に反比例していて、 $x = -2$ のとき $y = -3$ です。

x と y の関係を式に表しましょう。

〈考え方〉

x-2.....
y-3.....

}
積 $xy = (-2) \times (-3) = 6$ → 比例定数は $\overset{\text{ア}}{\square}$

求める式は $y = \frac{\overset{\text{イ}}{\square}}{x}$

(2) y は x に反比例していて、 $x = -3$ のとき $y = \frac{2}{3}$ です。

x と y の関係を式に表しましょう。

〈考え方〉

x-3.....
y $\frac{2}{3}$

}
積 $xy = (-3) \times \frac{2}{3} = \overset{\text{ウ}}{\square}$ → 比例定数は $\overset{\text{エ}}{\square}$

求める式は $y = -\frac{\overset{\text{オ}}{\square}}{x}$

反比例 $y = \frac{a}{x}$ ← 比例定数

数学 トライシート 1-④-3-A

名前

円の周の長さとお面積

【復習】

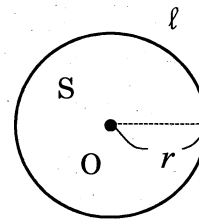
円の周の長さとお面積について

半径を r 、円の周の長さを l 、面積を S とすると、

周の長さ $l = 2\pi r$

面積 $S = \pi r^2$

※円周率は π と表します。



【練習】 次の各問いの に当てはまる数や式を書きましょう。

(1) 半径 3cm の円の周の長さとお面積をそれぞれ求めましょう。

周の長さ $l = 2\pi r$

面積 $S = \pi r^2$

$= 2\pi \times 3$

$= \pi \times 3^2$

ア
 $=$

$= \pi \times 9$

イ
 $=$

答え 周の長さ ウ

, 面積 エ

答え 【練習】 (1) ア 6π イ 9π ウ $6\pi \text{ cm}$ エ $9\pi \text{ cm}^2$

(2) 半径 4cm の円の周の長さ と面積をそれぞれ求めましょう。

周の長さ $l = 2\pi r$

$= 2\pi \times$

$=$

面積 $S = \pi r^2$

$= \pi \times$ ²

$= \pi \times$

$=$

答え 周の長さ

面積

答え (2) 才 4 カ 8π キ 4 ク 16 ケ 16π コ $8\pi\text{cm}$ サ $16\pi\text{cm}^2$

数学 トライシート 1-④-3-B

名前

おうぎ形の弧の長さとお面積

【復習】

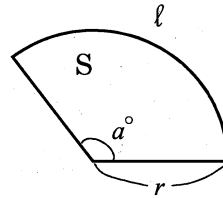
おうぎ形の弧の長さとお面積について

半径 r , 中心角 a° のおうぎ形の

弧の長さを l , 面積を S とすると,

$$\text{弧の長さ } l = 2\pi r \times \frac{a}{360}$$

$$\text{面積 } S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$$



【練習】 次の各問いの に当てはまる数や式を書きましょう。

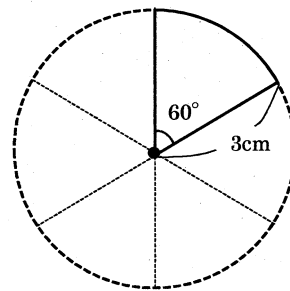
(1) 半径 3cm, 中心角 60° のおうぎ形の弧の長さとお面積をそれぞれ求めましょう。

$$\text{弧の長さ } l = 2\pi r \times \frac{a}{360}$$

$$= 2\pi \times 3 \times \frac{60}{360}$$

$$= 6\pi \times \text{ア}$$

$$= \text{イ}$$



$$\text{面積 } S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$$

$$= \pi \times 3^2 \times \frac{60}{360}$$

$$= 9\pi \times \text{ウ}$$

$$= \text{エ}$$

答え 弧の長さ

面積

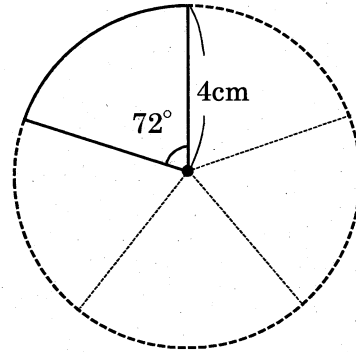
(2) 半径 4cm, 中心角 72° のおうぎ形の弧の長さ と面積をそれぞれ求めましょ
う。

弧の長さ $l = 2\pi r \times \frac{a}{360}$

$$= 2\pi \times 4 \times \frac{72}{360}$$

$$= 8\pi \times \text{キ}$$

$$= \text{ク}$$



面積 $S = \pi r^2 \times \frac{a}{360}$

$$= \pi \times 4^2 \times \frac{72}{360}$$

$$= 16\pi \times \text{ケ}$$

$$= \text{コ}$$

答え 弧の長さ サ

, 面積 シ

 答え 【練習】(1) ア $\frac{1}{6}$ イ π ウ $\frac{1}{6}$ エ $\frac{3}{2}\pi$ オ $\pi \text{ cm}$ カ $\frac{3}{2}\pi \text{ cm}^2$

(2) キ $\frac{1}{5}$ ク $\frac{8}{5}\pi$ ケ $\frac{1}{5}$ コ $\frac{16}{5}\pi$ サ $\frac{8}{5}\pi \text{ cm}$ シ $\frac{16}{5}\pi \text{ cm}^2$

数学 トライシート 1-⑤-1

名前

立体の表面積～正四角錐^{すい}

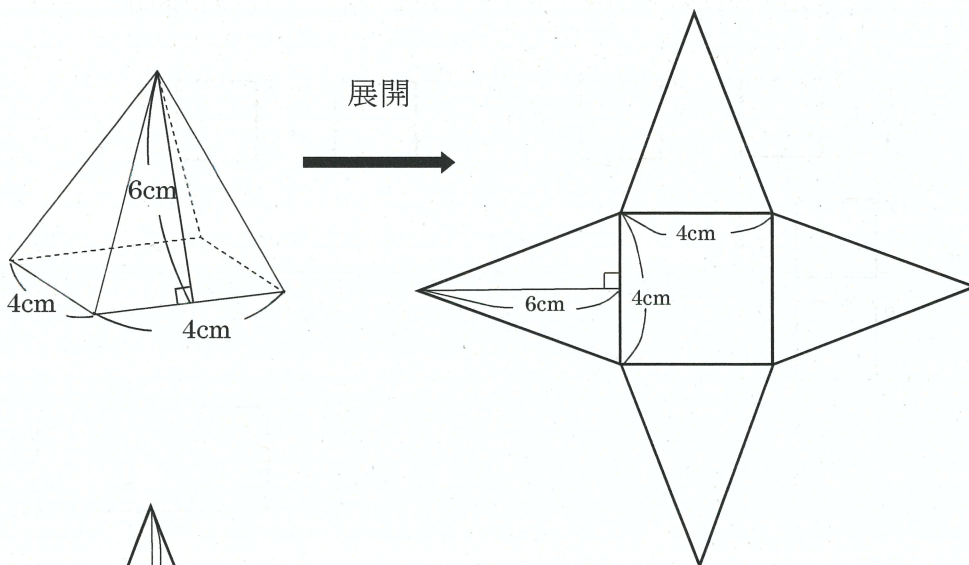
【復習】

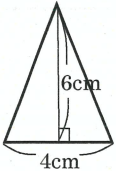
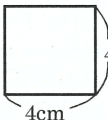
底面が1辺4cmの正方形で、側面の二等辺三角形の高さが6cmである正四角錐^{すい}の表面積は、次のように求めることができます。

〈考え方〉 展開図をかく



展開図は一通りではないよ。



表面積 =  が4つ +  が1つ

$$= \frac{1}{2} \times 4 \times 6 \times 4 + 4 \times 4$$

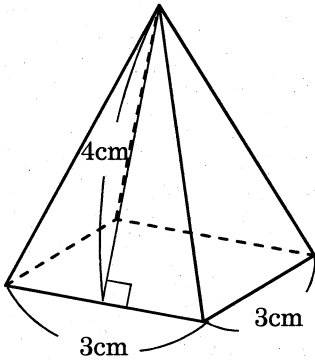
$$= 48 + 16$$

$$= 64$$

答え 64cm²

【練習】 次の に当てはまる数を書きましょう。

底面が 1 辺 3cm の正方形で、側面の二等辺三角形の高さが 4cm の正四角錐の表面積を求めましょう。



表面積 = 二等辺三角形の面積 \times 4 + 底面積 (正方形の面積)

$$= \frac{1}{2} \times \overset{\text{ア}}{\square} \times \overset{\text{イ}}{\square} \times 4 + \overset{\text{ウ}}{\square} \times \overset{\text{エ}}{\square}$$

$$= \overset{\text{オ}}{\square} + 9$$

$$= \overset{\text{カ}}{\square}$$

答え ^キ

答え 【練習】 ア 3 イ 4 (アとイは入れ替わってもよい) ウ 3 エ 3
オ 24 カ 33 キ 33cm²

数学 トライシート 1-⑤-2

名前

立体の表面積と体積～円柱

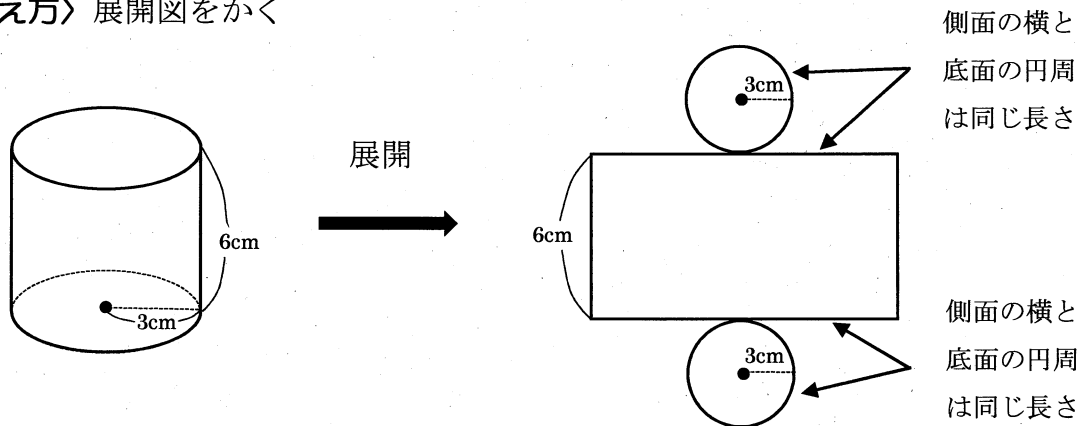
【復習】

$$\text{円柱の表面積} = \text{側面積} + \text{底面積} \times 2$$

【練習】 次の に当てはまる数や式を書きましょう。

底面の半径が **3cm** で高さが **6cm** の円柱の表面積を求めましょう。ただし、円周率は π とします。

〈考え方〉 展開図をかく



表面積 = 6cm + 3cm が 2 つ

$$\text{円周の長さ} = \text{半径} \times 2 \times \pi$$

(直径 $\times \pi$)

= $\times 6$ + $\pi \times 2$

= +

=

キ

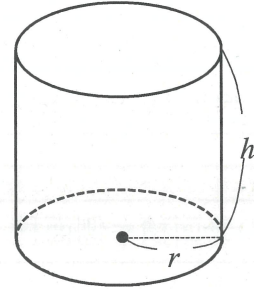
答え

【復習】

円柱の体積の求め方

底面の円の半径を r 、高さを h 、体積を V とすると、

$$\begin{aligned} V \text{ (体積)} &= \text{底面積} \times \text{高さ} \\ &= \text{円の面積} \times \text{高さ} \\ &= \pi r^2 \times h \\ &= \pi r^2 h \end{aligned}$$



【練習】 次の に当てはまる数や式を書きましょう。
底面の半径が 3cm で高さが 6cm の円柱の体積を求めましょう。

$$\text{体積} = \pi r^2 h$$

$$\begin{aligned} &= \pi \times \overset{\text{ク}}{\boxed{\quad}}^2 \times \overset{\text{ケ}}{\boxed{\quad}} \\ &= \overset{\text{コ}}{\boxed{\quad}} \end{aligned}$$

答え $\overset{\text{サ}}{\boxed{\quad}}$

「～柱」の体積
= 底面積 \times 高さ
 $S \quad h$
ということだね！



答え 【練習】 ア 6π イ 6π ウ 3 エ 36π オ 18π カ 54π キ $54\pi\text{cm}^2$
 ク 3 ケ 6 コ 54π サ $54\pi\text{cm}^3$

数学 トライシート 1-⑤-3

名前

立体の表面積

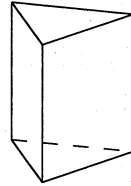
【復習】

立体の面積について

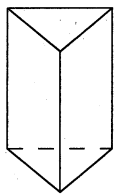
表面積……立体全体の面積

底面積……立体の1つの底面の面積

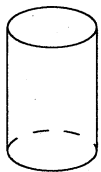
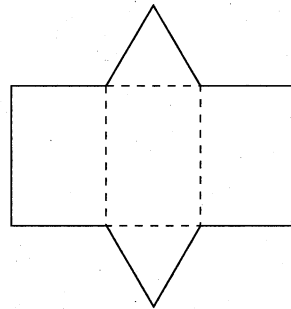
側面積……立体の側面全体の面積



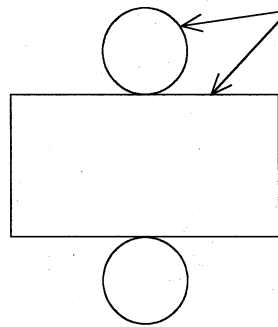
立体の展開図について



展開



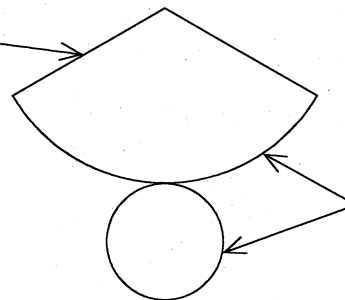
展開



側面の横と
底面の円周
は同じ長さ



展開



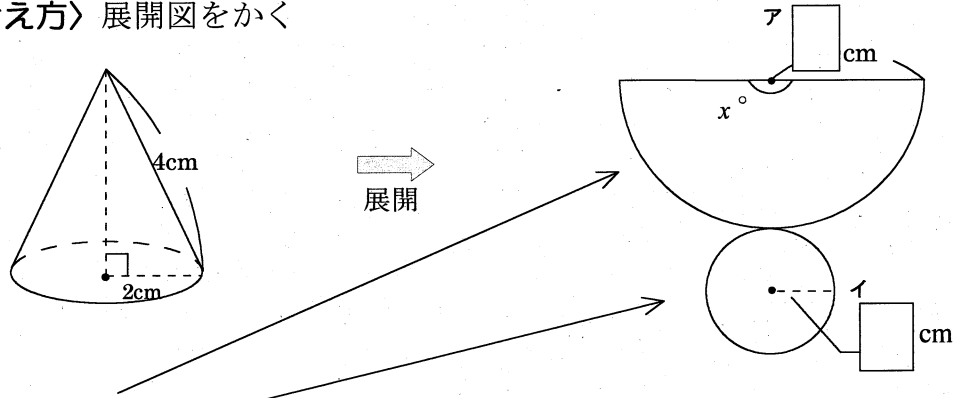
同じ長さ
(母線)

弧と底面
の円周は
同じ長さ

【練習】 次の に当てはまる数や式を書きましょう。

底面の半径が 2cm、母線の長さが 4cm の円錐の表面積を求めましょう。

〈考え方〉 展開図をかく



表面積 = 側面積 + 底面積

【側面積】 中心角を x° とすると

$$(2\pi \times 2) : (2\pi \times 4) = x : 360$$

これを解くと

$$x = 180$$

したがって側面積は

$$\begin{aligned} & \pi r^2 \times \frac{x}{360} \\ &= \pi \times 4^2 \times \frac{180}{360} \\ &= 16\pi \times \text{ウ} \\ &= \text{エ} \text{ (cm}^2\text{)} \end{aligned}$$

【底面積】 $\pi r^2 = \pi \times \text{オ}^2$
 $= \text{カ} \text{ (cm}^2\text{)}$

表面積 = 側面積 + 底面積

$$\begin{aligned} &= \text{キ} \text{ (cm}^2\text{)} + \text{ク} \text{ (cm}^2\text{)} \\ &= \text{ケ} \text{ (cm}^2\text{)} \end{aligned}$$

答え 【練習】

ア 4 イ 2
 ウ $\frac{1}{2}$ エ 8π
 オ 2 カ 4π
 キ 8π ク 4π
 ケ 12π

数学 トライシート 1-⑤-4

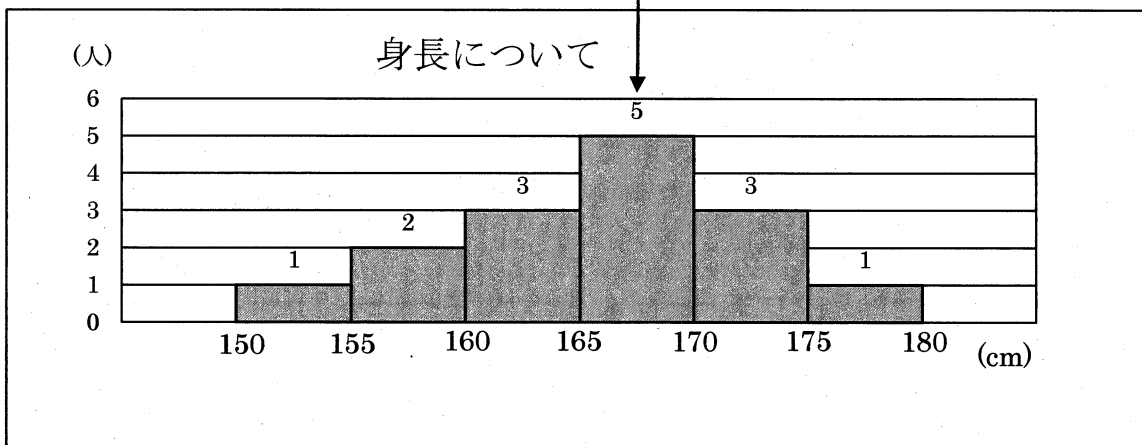
名前

ヒストグラム

【復習】

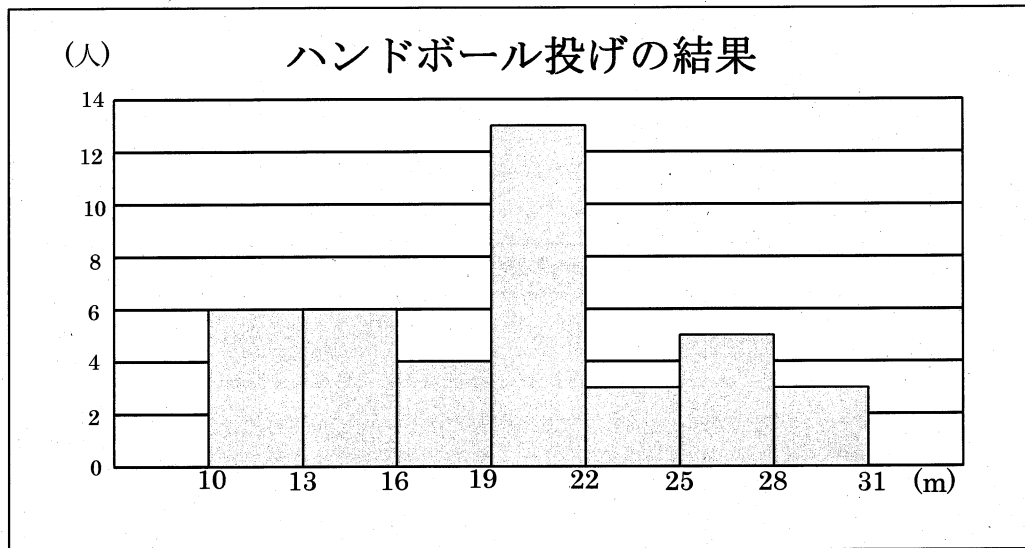
ヒストグラムの読み方

身長(cm)	人数(人)
150~155	1
155~160	2
160~165	3
165~170	5
170~175	3
175~180	1
計	15



例えば、165cm~170cm の人は5人なので、ヒストグラムでは165cm~170cmのグラフは5(人)のところまで伸びています。

【練習】 次の に当てはまる数を入れましょう。



ヒストグラムより、

10～13(m)の人数は6人、

13～16(m)の人数は ^ア 人

16～19(m)の人数は ^イ 人、

19～22(m)の人数は ^ウ 人

22～25(m)の人数は ^エ 人、

25～28(m)の人数は ^オ 人

28～31(m)の人数は ^カ 人

よって、このクラスの人気は、

$$6 + \overset{\text{ア}}{\text{□}} + \overset{\text{イ}}{\text{□}} + \overset{\text{ウ}}{\text{□}} + \overset{\text{エ}}{\text{□}} + \overset{\text{オ}}{\text{□}} + \overset{\text{カ}}{\text{□}} = \overset{\text{キ}}{\text{□}}$$

答え ^ク 人

 答え 【練習】 ア 6 イ 4 ウ 13 エ 3 オ 5 カ 3 キ 40 ク 40